

令和9年度

第3年次編入学 学生募集要項

(畜産科学課程)

◎ この学生募集要項は、帯広畜産大学の第3年次編入学への出願者のために作成しております。
第3年次編入学の出願はインターネット出願登録サイト及び必要書類の郵送により行います。

今後の社会状況によっては、やむを得ず内容を変更する場合があります。

変更がある場合は本学ウェブサイトに掲載しますので、試験当日まで定期的に確認してください（試験日前日までにお知らせを掲載する場合があります）。

トップページ上のメニュー「入試情報」内の「入試に関するお知らせ」

URL : <https://www.obihiro.ac.jp/nyushi>



「入試に関するお知らせ」QRコード：

帯広畜産大学

目 次

帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程案内	1
1 募集人員（入学定員）	3
2 編入学の時期及び編入学年次	3
3 出願資格	3
4 出願手続	4
5 障がい等のある志願者との事前相談	7
6 入学者選抜方法等	7
7 合格発表	8
8 入学手続	8
9 その他の諸経費について	9
10 修学条件等	9
11 個人情報の取扱いについて	9
◎ 出願書類の提出・問い合わせ先	9
◎ 帯広畜産大学所在地及び交通案内図	10

帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程案内

本学のミッションは、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域および国際社会へ貢献することです。

このような理念・目標のもとに、教育ポリシー（方針）を以下のように定めています。

～帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程の教育ポリシー（方針）～

◎目指すべき人材像

食と農の大切さ、動植物の命の尊さを心得た素養を基礎として、「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適応できる知識と実践力を有するとともに、地球規模課題解決等の国際的視野を備えたグローバル人材

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

入学者に求める資質（期待する学生像）

帯広畜産大学は、獣医・農畜産融合の視点から、農場から食卓まで生命・食料・環境を科学し、農畜産の幅広い分野で活躍する実践的な専門職業人を育成するため、以下のような人を学生として求めています。

1. 「農場から食卓まで」の幅広い考え方で現場に適応できる知識と能力を身につけたい人
2. 北海道十勝地域の豊かな自然と風土のもとで、食と農の大切さ、動植物の命の尊さを学びたい人
3. 食や環境などに関する地球規模の社会問題を解決する能力を身につけたい人
4. 農畜産学および獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域について学ぶために必要な基礎学力を身につけている人
5. 自分の意見を持ちつつも、他の多様な意見や価値観を尊重して協力することができる人

○ディプロマポリシー（学位授与方針）

帯広畜産大学では、教育課程で定められた授業科目を履修して所定の卒業要件単位数を修得し、以下の知識や能力を身につけた学生に学士の学位を授与します。

1. 獣医・農畜産融合の視点から、食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く、課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。
2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。
3. 獣医農畜産の専門教育コースである下記ユニットの専門知識、技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<家畜生産科学ユニット>

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<環境生態学ユニット>

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組み、農畜産環境及びそれを取り巻く自然環境に関する専門知識を身につけている。
- ・上記に関する技術と、課題解決に向けた基本的な能力を身につけている。

<食品科学ユニット>

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<農業経済学ユニット>

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題の把握や分析に必要な社会科学的な専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<農業環境工学ユニット>

- ・農業生産の基盤である農村環境の評価や保全管理の技術とともに、農業機械の高度化技術やバイオマス資源・雪氷冷熱の活用技術に関する専門知識を身につけている。
- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

<植物生産科学ユニット>

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種

に関する専門知識を身につけている。

- ・上記の技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。

○カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

帯広畜産大学学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、農畜産学及び獣医学とこれらに関連する諸学術分野について、以下の方針に沿って教育課程を編成します。

I. 教育内容

1. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域に関する幅広い視野と専門性を養います。
2. 食料生産及び食の安全に関わる授業科目を広く修得することで、「農場から食卓まで」の幅広い視野を養います。
3. 低学年では教養と語学力を向上させるための科目及び専門領域への導入的科目を、高学年では専門領域の科目を配置することで、修学の積み重ねを重視したアドバンス制教育を行い、着実な基礎に根ざした専門性を養います。
4. 専門教育コースであるユニットでは、より専門性を高めるための科目を配置するとともに、他ユニットの科目も適宜選択可能なシステムを設けることで、専門性を広げる教育を行い、生命、食料、環境に関する幅広い知識を養います。
5. 高学年で分属する研究室では、卒業研究や卒業研究ゼミナールを通して専門知識と技術の修得とともに、総合的思考力・応用力を養います。
6. 学生のキャリアを育てるための科目を配置し、見通しを持って主体的に卒業後の進路を切り開く力を養います。
7. 国際教育関連の科目群を配置し、国際社会での活動に対応できる能力を養います。
8. 専門性を身につけるための共同獣医学課程及び畜産科学課程の専門ユニットの科目編成方針は次の通りです。

<家畜生産科学ユニット>

- ・家畜の飼養管理、繁殖や改良、乳肉の生産についての知識と技術を養います。

<環境生態学ユニット>

- ・多様な生物群からなる生態系の仕組み及び農畜産環境とその周囲を取り巻く自然環境を理解するための知識と技術を養います。

<食品科学ユニット>

- ・食品の一次機能（栄養成分とエネルギー）、二次機能（おいしさや食感）および三次機能（生体調節や健康）に関する専門知識を養います。

<農業経済学ユニット>

- ・農畜産の生産、加工、流通、消費に関わる諸問題を、農業経済学や農業経営学を主とする社会科学的なもの見方や調査に基づき的確に把握する能力を養います。

<農業環境工学ユニット>

- ・農業生産の基盤である農村環境の評価や保安全管理の技術とともに、農業機械の高度化技術やバイオマス資源・雪氷冷熱の活用技術に関する専門知識を養います。

<植物生産科学ユニット>

- ・植物生産を支える土壌と病害虫を含めた栽培環境から、その環境で育つ作物の生理、生態及び育種を総合的に理解するための専門知識を養います。

II. 教育方法

1. 学生の主体的学びを促進し、課題発見力・課題解決力を養うためのアクティブラーニングを積極的に取り入れます。
2. 「農場から食卓まで」の幅広い視点で現場に適應できる知識と能力を養うための実践的な演習・実習を行います。

III. 学習成果の評価の在り方

1. 授業科目における評価方法と基準について、各科目のシラバス及び成績評価基準を明記します。
2. 単位審査、進級審査、卒業審査方針については、別にアセスメント・ポリシーを定めて公表します。

1 募集人員（入学定員）

学 部 名	課 程 名	専門教育ユニット	募集人員
畜産学部	畜産科学課程	家畜生産科学ユニット	10人
		環境生態学ユニット	
		食品科学ユニット	
		農業経済学ユニット	
		農業環境工学ユニット	
		植物生産科学ユニット	

2 編入学の時期及び編入学年次

- (1) 編入学の時期
令和9年4月1日
- (2) 編入学年次
第3年次

3 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は令和9年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学士の学位を有する者又は令和9年3月までに取得見込みの者
- (3) 大学に、令和9年3月までに2年以上在学し62単位以上を修得している者又は修得見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）を満たすものを修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科のうち、修業年限2年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- (7) 前各号に定めるもののほか、法令等で大学の第3年次に編入学できると定められた者
- (8) 外国において前(1)、(2)、(3)の各号に相当する資格を得たと認められる者

※ 上記(8)で出願しようとする者は、必ず7月21日（火）までに入試課入学試験係に連絡のうえ、事前確認を行ってください。連絡先は9ページに記載してあります。

4 出願手続

(1) 出願方法等

① 出願方法

(2)で記載する出願期間までに、本学のインターネット出願システムへの入力及び出願書類の郵送（または持参）により手続きしてください。

なお、郵送の場合は必ず「簡易書留・速達」としてください。

持参の場合の受付時間は8時30分から17時までです。ただし、土・日曜及び祝日は受付を行いません。

【インターネット出願システムにアクセスする前に】

・インターネット出願システムの URL 及び入力開始日は7月上旬までに本学のホームページ（編入学入試のページ）に掲載します。

・出願の際は、プリンター（出願書類出力用）、メールアドレス、顔写真データ（形式は jpg で 2MB まで。詳細は 7 ページ参照）、調査書等が必要となりますので、必ず用意してから出願してください。

・インターネット出願システムに入力・登録しただけでは出願は完了しません。必ず出願書類の郵送（または持参）が必要ですので、郵送期間を十分に考慮し出願してください。


・インターネット出願サイト利用中の操作ミスや、接続不良を理由とした出願期間後の申込は受付ませんので、インターネット環境に不安のある方は必ず出願期間前に入試課までご相談ください。

・インターネット出願システムで登録後、登録内容の修正はできません。必ず、登録前に間違いがないことを確認して手続きしてください。

・検定料はコンビニエンスストア、金融機関 ATM 【Pay-easy】、インターネットバンキング、クレジットカードのいずれかでお支払いください。検定料の支払いには支払方法に関わらず、入学検定料の他に手数料が必要となります。

支払期日は、インターネット出願システムで入力・登録した日の翌日まで（出願期間最終日に登録した場合の支払は当日）となります。支払期日を過ぎた場合は、登録した内容はキャンセルとなりますのでご注意ください。

② 出願書類

	出 願 書 類	摘 要
1	<p>入 学 志 願 票 写真のアップロード</p> <p>★インターネット出願システムより登録・印刷すること。</p>	<p>インターネット出願システムにて、必要事項を入力し、出願前3ヶ月以内に撮影した志願者のカラー写真データ（上半身・脱帽・正面向き）をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続きを行い、入学志願票を片面印刷してください。</p> <p>※検定料支払後にインターネット出願システムからA4サイズ（縦）で入学志願票をカラー印刷してください。</p> <p>※アップロードした写真が「承認待ち」となっても、入学志願票を出力して、出願期間内に提出してください。</p> <p>※写真については、受験時に眼鏡をかける者は、必ず眼鏡をかけて撮影したものにしてください。</p>
2	<p>志 望 理 由 書</p>	<p>・ホームページ（編入学入試のページ）よりダウンロードした本学所定の様式に、編入学を志望する理由を800字程度で記入してください。</p> <p>※志望専門教育ユニットは、必ず第5志望までの順位を記入してください。</p>
3	<p>卒 業 証 明 書 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書、卒業見込証明書又は在学期間を証明する書類 ・出願資格(2)に該当する者で、学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者は学位授与証明書 ・出願資格(4)に該当する者は、専修学校が発行する「修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上の専門課程を修了したこと又は修了見込であること」を証明する書類又は「専門士の称号を取得したこと又は取得見込みであること」を証明する書類 ・出願資格(5)に該当する者は、学校が発行する「当該専攻科が、修業年限2年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たしている」ことを証明する書類
4	<p>成 績 証 明 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出身学校等の長が作成し、厳封してください。 ・出願資格の(3)に該当する者で、令和9年3月までに62単位以上を修得見込みの者については、出願時において修得見込みの科目名・単位数がわかる証明書も同封してください（成績証明書に「履修中」「修得見込」等の記載がある場合は成績証明書のみで可）。
5	<p>TOEIC Listening & Reading 公式認定証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月1日以降に受験したスコア（写しの場合は、出身学校長の原本証明が必要）を提出してください。
6	<p>宛 名 ラ ベ ル</p> <p>★インターネット出願システムより印刷し、入試課に郵送・持参する際に使用すること。</p>	<p>・インターネット出願システムから本学様式の宛名ラベルを印刷し、出願用封筒（市販の角型2号封筒）に貼り付けてください。</p> <div style="text-align: center;">  <p>宛名ラベル</p> <p>出願書類 提出用封筒</p> </div>

③ 検定料（30,000円）等払込方法

払込期間：令和8年7月29日（水）～令和8年8月12日（水）16:00まで

インターネット出願システムで志願者情報等を入力し、入力内容が正しいことを確認した上で、画面の指示に従って、コンビニエンスストア、金融機関ATM【Pay-easy】、インターネットバンキング、クレジットカードのいずれかでお支払いください（払込手数料は志願者負担）。

注1：検定料が払込まれていない場合、インターネット出願システムで入学志願票等を印刷できません。

注2：普通為替や現金では受理できません。

注3：発行された検定料の領収書（支払いを行ったお店の受領印が押されたもの）は、入学試験が終わるまで大切に保管してください。

注4：受理した検定料は返還できません。ただし、次の場合に限り、申出により検定料相当額を返還します。

ア) 出願しなかった場合

イ) 出願書類が受理されなかった場合

ウ) 二重に払い込んだ場合

※ 返還に関する問い合わせ先 入試課入学試験係 TEL 0155-49-5321

(2) 出願期間と郵送（持参先）

出願期間：令和8年8月3日（月）～令和8年8月12日（水）（最終日消印有効）

※ インターネット出願システムへの登録及び検定料の支払いが完了しても、出願書類の提出期限に書類が届かない場合は、出願を受理しませんので注意してください。

ただし、投函日が8月11日（火）～12日（水）の場合は、必ず郵送前に出力済の入学志願票の写しをメールまたはFAXにより、入試課入学試験係へ送信してください（連絡先は以下のとおり）。

※出願書類の郵送（持参）先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学入試課 入学試験係 宛
TEL：0155-49-5321 FAX 0155-49-5420 メール nyushi@obihiro.ac.jp

(3) 出願上の注意事項

ア) 宛名ラベルを貼り付けた出願用封筒に、出願書類1～5を必ず同封してください。

イ) 提出された出願書類は、返還することができません。

ウ) 入学志願票の「連絡先」に変更があった場合は、直ちに電話または電子メールで連絡してください。

(4) 受験票について

出願書類が受理された志願者は、**8月19日（水）10:00より**、インターネット出願システムから受験票の印刷が可能となりますので、**各自印刷して試験当日必ず持参してください。**

受験票が印刷できない場合は、入試課（TEL 0155-49-5321）にお問い合わせください

5 障がい等のある志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のある者については、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に本学と相談を行ってください。

(1) 事前相談を必要とする障がい等の程度

区分	特別な配慮の対象となる者
① 視覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 両眼による視野について強度視野障がいのある者 上記以外の視覚障がい者
② 聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外の聴覚障がい者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障がい著しい者 上記以外の肢体不自由者
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発達障がい	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で特別な配慮を必要とする者

注：日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に相談してください。

(2) 相談の期限

令和8年8月12日(水)

注：相談の期限後の不慮の事故その他特別な理由により、事前相談が必要になった場合は、直ちに9ページの連絡先に申し出てください。

なお、必要な場合には、本学において志願者又はその内容を説明し得る出身学校関係者等との面談を行うこともあります。事前相談書の様式は本学ホームページの入試情報に掲載しています。

6 入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、英語外部試験(TOEIC L&R)の成績(配点100点)と本学が実施する小論文(配点200点)、面接(配点200点)の成績及び志望理由書と成績証明書の内容を総合して行います。

なお、入試の試験科目(「英語」、「小論文」、「面接」)において著しく成績の低い科目があった場合は、総合点にかかわらず、合格者とならない場合があります。

英 語：TOEIC L&R のスコアを 650 点以上で 100 点、650 点未満はスコア÷6.5 で評価する。

小論文：特定の課題を与えて1,000字程度の論述を課します。

面 接：複数の面接員による個人面接

(2) 学力検査等の日時・場所

実施期日	時 間	科 目 等	試験場
令和8年9月29日(火)	9:30～11:00 (90分)	小論文	帯広畜産大学
	12:00～	面接	

(3) 受験上の注意事項

ア) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。

イ) 9時までに試験室に入室してください。なお、試験室へは8時30分から入室することができます。

ウ) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

エ) 上靴を持参する必要はありません。

- オ) 試験室内での携帯電話，スマートフォン，音楽プレーヤー等の電子機器の使用は認められませんので，入室後は電源を切り，かばん等に入れて身につけないでください。
- カ) 試験中の筆記用具等の貸し借り及び下敷き・色鉛筆の使用は許可しません。
- キ) 試験時間中は受験票，筆記用具（ボールペンは不可），時計（計時機能だけのもの），メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの），目薬のほかは机の上に置くことはできません。上記以外のものは，足元に置いてください。
- ク) 試験室ではすべて監督者の指示に従ってください。また，もし不正行為があった場合には，受験結果をすべて無効とし，引き続いて受験することは許可しません。
- ケ) 試験中，質問がある場合又は具合が悪くなったときは，手をあげて監督者がそばに来てから申し出てください。
- コ) 昼食は各自持参のうえ，面接控室の自分の座席でとってください。
- サ) 9月25日（金）10時から試験配置図を本学ホームページに掲載しますが，試験場内に入ることはできません。
- シ) 試験当日，付添人は試験場内に入ることはできません。

7 合格発表

- (1) 合格者の受験番号を下記により発表します。

日 時	場 所
令和8年10月8日（木）10時	本学ホームページ https://www.obihiro.ac.jp/

- (2) 合格者には，合格通知書を「レターパック」で郵送します。
- (3) 電話等による合否の照会には，応じられません。
- (4) 入学手続状況によっては，追加合格を行うことがあります。
追加合格該当者には，令和8年11月25日（水）から，入学志願票に記載された「出願者の連絡先」に電話で連絡します（不在の場合は，「父母等の連絡先」とします）。

8 入学手続

入学試験に合格した者には，入学手続に必要な書類等を合格通知書とともに送付します。入学手続期限内に入学手続が完了しない場合は，本学への入学を辞退したものととして取扱います。

- (1) 入学手続期間
令和8年11月16日（月）～令和8年11月24日（火）（最終日17時必着）
- (2) 提出書類
誓約書
その他必要な書類は入学手続時に案内します。
- (3) 納付金
入学料 282,000円
注：上記の納付金は現行額であり，入学時に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金が適用されます。
- (4) 入学手続上の注意事項
ア) 持参の場合の受付時間は，8時30分から17時までです。ただし土・日曜及び祝日は受付を行っていません。
郵送の場合は必ず「書留速達」としてください。
イ) 入学料は，本学所定の払込取扱票により郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んでください。
ウ) 入学手続期限までに必ず「入学手続」又は「入学辞退の連絡」のどちらかを行ってください。

授業料について（参考）

前期分 267,900円 後期分 267,900円

※金額は前期・後期とも予定額です。

※納入期限は，前期分が5月末日，後期分については11月末日です。

9 その他の諸経費について

本学では、大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険へ加入していただきます。詳細については、合格通知の際に別途説明します。

10 修学条件等

(1) 修業年限及び在学期間

本学の修業年限は4年間ですが、編入学生については、そのうち2年間で既に在学したものとし、第3年次に在学しているものとして取り扱います。

なお、入学後の在学可能期間は4年間となりますので、これを超えて在学することはできません。

(2) 既修得単位の取扱い

本学に編入学する前に出身大学等において修得した単位については、入学後に本学の定める基準により本学において修得したものと認定します。

既修得単位の認定は、出身大学等で修得した授業科目の内容・単位数を勘案して本学を卒業するために必要な単位数と授業科目等を定め、それに基づき認定します。

認定する単位数は、本学の卒業要件単位数124単位のうち半数の62単位を目処としますが、本学を卒業するために必要と定められた単位数により若干前後することがあります。

※入学前の既修得単位の認定に関する相談には応じられません。

11 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願時に提供いただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 入学者選抜で得られた試験成績の個人情報は、入学者選抜、入学者選抜方法等における調査・研究及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

(4) 上記(2)及び(3)の個人情報のうち、合格者のみ、入学後の教務関係（修学指導等）、学生支援関係（奨学金申請・授業料免除申請等）に関する業務及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

なお、合格者には入学手続時に改めてお知らせします。

◎ 出願書類の提出・問い合わせ先

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 入試課 入学試験係
Tel 0155-49-5321 (入学試験係直通) (月～金 8:30～17:15)
E-mail:nyushi@obihiro.ac.jp

帯広畜産大学ホームページのご案内

ホームページには、入試情報、各課程の紹介、大学の概要等が載っています。
アドレスは、次のとおりです。 <https://www.obihiro.ac.jp>

帯広畜産大学携帯電話サイトのご案内

資料請求方法などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。
アドレスは、次のとおりです。 <https://daigakujc.jp/obihiro>
右のQRコードからも読み取れます。



帯広畜産大学所在地及び交通案内図

帯広畜産大学 北海道帯広市稲田町西2線11番地

アクセスマップ



●交通案内●

○帯広駅から本学まで

【十勝バス】

帯広駅バスターミナル 9番から大空団地線（系統番号 70・72）に乗車、「緑陽高校前」で下車。

（約30分 480円、1時間に2本）

大学正門まで徒歩 15分

【タクシー】

約15分 約2,400円（約7km）

○とち帯広空港から本学まで

【バス】

とち帯広空港 → 空港連絡バス（約 40分 1,000円） → 帯広駅バスターミナル

→ 上記の路線バス

【タクシー】

約30分 約7,000円（約21km）

十勝バス HP

